

導入促進をアピール

図柄入り平泉ナンバーお披露目会

10月1日、毛越寺境内の南大門跡前で図柄入り平泉ナンバープレートのお披露目会が開かれました。

お披露目会には佐藤一関商工会議所会頭をはじめ勝部一関市長、小沢奥州市長、高橋金ヶ崎町長、青木町長が出席。4市町の首長がそれぞれ使用する公用車に取り付けられた金色に輝くナンバーを披露し、導入促進をアピールしました。平泉ナンバーの図柄は平泉の黄金文化を象徴する金色を基調に、大河の流れるさまや平和を表す円などがデザインされています。



笑顔で健康、長寿を祝う

第64回平泉町敬老会

平泉町敬老会が9月16日、平泉中学校で開催されました。敬老会には、昭和14年4月1日以前に生まれた80歳以上の1,083人が招待され、町内最高齢の藤田トクヨさん(106歳、12区)と男性最高齢者の小野寺貞吉さん(100歳、7区)を含む402人が元気な姿で出席しました。

昼食を囲みながらのアトラクションでは、長島保育所の園児による歌や踊りなどが披露され、招待者らは楽しいひとときを過ごしていました。



町立幼稚園・保育所で人権交流会

友達と仲良くすることの大切さを学ぶ

10月5日、平泉幼稚園と平泉保育所の3～5歳の在園児120人を対象に人権交流会が開催されました。平泉町と一関市の人権擁護委員によるオリジナル人形劇「いっしょにあそぼう」では、友達と仲良くすることの大切さ、相手を思いやる優しい心を持つことを呼び掛け、園児たちは「意地悪しちゃだめだよ」と話しながら、真剣に見入っていました。

交流会の最後には、劇に登場した人形たちや委員と握手やタッチをするなどして交流を深めました。

華麗な演舞で観客を魅了

平泉神楽祭

平泉神楽祭が9月16日、平泉文化遺産センター特設会場で開催されました。郷土芸能体験講座受講生による御神楽から始まり、達谷窟毘沙門神楽(平泉町)、達古袋神楽(一関市)、富沢神楽(一関市)、早池峰岳神楽(花巻市)、高千穂の夜神楽(宮崎県高千穂町)の演舞が次々と行われ、高千穂・早池峰・南部神楽による夢の競演となりました。

観客らは、それぞれの地域で継承する伝統の神楽に夢中になり、じっくりと見入っていました。



百歳体操を通じて交流を深める

いきいき百歳体操交流会

10月15日、いきいき百歳体操を実践する平泉町の11区いきいき百歳体操の会と一関市の関が丘いきいきクラブによる「いきいき百歳体操交流会」が役場で開催されました。

交流会には両グループから合わせて55人が参加し、指先を動かしながら行う簡単な体操や、いきいき百歳体操を行いました。また健康づくりや介護予防の取り組みなどの情報交換も行い、楽しみながら続けられる工夫について意見を交わし、交流を深めていました。



あゆかさんと稲刈りを体験

一関藤の園の子どもたちを招待

9月24日、盛岡市出身(県立一関二高卒業生)のタレントのあゆかさんと、一関市の児童養護施設「一関藤の園」の子どもたちが、町内のほ場で一緒に稲刈りを体験しました。この稲刈り体験は、JAいわて平泉青年部協議会(那須俊裕会長)が、いわて平泉米の知名度を高めるために取り組む「JAいわて平泉青年部×あゆかの『JAいわて平泉米』PRプロジェクト」の一環。

那須会長は「子どもたちが今回の体験を通じて、米作りや農業について考えるきっかけになれば」と話していました。

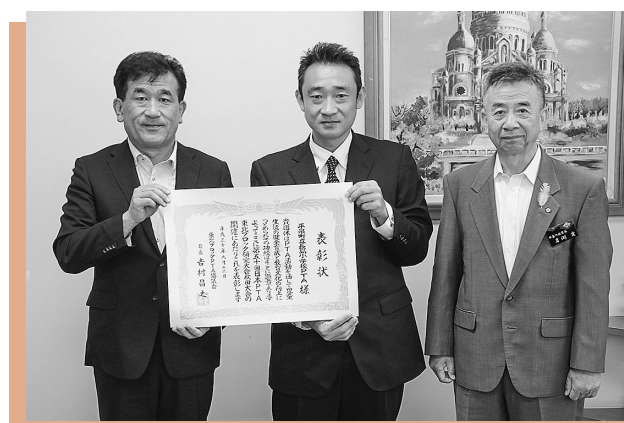


親族らに囲まれ長寿を祝う

石川チヨ子さんが満100歳を迎える

石川チヨ子さん(18区)が10月17日、満100歳の誕生日を迎えました。同日は100歳の節目を祝おうと親族ら25人が集まり祝賀会が開かれ、青木町長から百寿を祝う花束と記念品が贈呈されました。

石川さんは昔から手先が器用で裁縫などをこなし、現在もビニールひもを使った編みひも作りに取り組むなど元気な姿を見せています。石川さんはたくさんの笑顔に囲まれながら、長寿を祝福されていました。



長島小学校PTAが表彰

日本PTA東北ブロック研究大会秋田大会

9月15日と16日に秋田県秋田市で開催された「第50回日本PTA東北ブロック研究大会秋田大会」で、PTA活動を通して児童の健全育成と教育文化の向上に努めた功績により、長島小学校PTAが表彰されました。

9月27日には長島小PTA会長の及川誉士夫さんと高橋彰校長が、岩淵教育長を訪問し、受賞を報告。及川さんは「これまでの長年にわたる活動が評価されての受賞。今後も学校や地域と一緒に子どもたちを見守りたい」と話していました。